

○**今後も暖冬傾向は続く予報です**
 ○**茎立期直前まで、積極的な麦踏みを行きましょう！**

1. 生育と気象の経過

12～1月は平年よりも気温が高く推移しました。降水量は12月が平年の半分程度で、下葉の黄化などが散見されましたが、1月に入り、平年並みとなりました。気温が高かったものの、生育の極端な前進や過繁茂は見られず、平年並みの生育です。

表1 月別気温

	本年値 (°C)	平年値 (°C)	平年差 (°C)
12月	5.5	3.9	+1.6
1月	3.5	1.6	+1.9

表2 月別降水量

	本年値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)
12月	21.0	39.4	53.3
1月	32.0	34.7	92.2

出典：真岡アメダス

2. 今後の管理

直前まで麦踏みをしましよう！

ほ場や播種時期によって、生育にばらつきがあるため、生育状況や気温を確認し、積極的に行いましょう。

茎立ち期直前の踏圧は、穂揃いをよくし、成熟ムラの無い倒伏しにくい麦にする効果があります。可能な限り実施しましょう。



ほ場が高水分状態での麦踏みや圧が強すぎる麦踏みは、生育に悪影響を及ぼすので、ほ場の乾燥状態を確認した上で踏圧を行いましょう。（目安として靴に土がつかない程度）。



麦踏みイメージ

3. 今後の気象（気象庁 2月20日発表 3か月予報）

気温、降水量の名階級の確率（%）			
気温	関東甲信地方	03月～05月	20 40 40
		03月	30 30 40
		04月	30 30 40
		05月	20 40 40
降水量	関東甲信地方	03月～05月	30 40 30
		03月	30 40 30
		04月	30 40 30
		05月	30 40 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

- ・ 向こう3か月の気温が高くなるまたは平年並の確立は80%で、麦の生育が進む可能性があります。
- ・ 高温により、茎立期や出穂期が異常に早まると幼穂凍死や不稔穂発生の可能性が高くなります。そのため、麦踏みを行い、過剰生育を抑制しましょう。

4. 雑草防除

気温が高いと、雑草の発生も高まります。よくほ場を観察し、時期を逸しないように、登録のある薬剤を散布しましょう。

農薬名	適用雑草
バサグラン液剤	一年生雑草(イネ科を除く)
ハーモニー75DF	一年生広葉雑草、スズメノテッポウ
エコパートフロアブル	一年生広葉雑草

※除草剤(農薬)を使用する時は、ラベルの表示をよく確認し、基準を守って使用しましょう。

5. 排水対策

麦は全栽培期間を通じて湿害を受けやすい作物です。明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されているか点検しましょう。

麦踏み等により、溝が土や泥等で埋まっている場合は、必要に応じて、さらいましょう。

